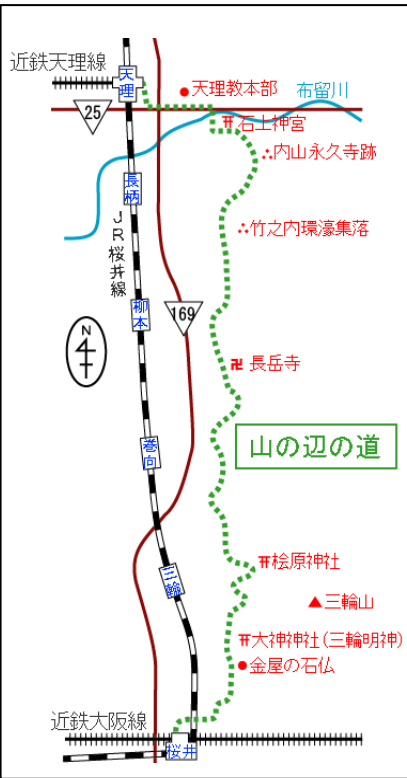


## 観光社会資本の事例

テーマ	古代に想いを馳せる「山の辺の道」
【施設の状況写真】	
 <p data-bbox="231 952 710 1041">周囲の景観に配慮し、石畳や看板の整備をおこなっています。</p>	 <p data-bbox="837 873 1412 1041">ハイカーが迷わずハイキングを楽しめるよう、道標や案内板の整備がされています。(纏向(まきむく)遺跡群を一望できる場所からの古代の様子を描いた案内板)</p>
【施設の利用写真】	
 <p data-bbox="159 1545 750 1691">趣向をこらしたイベントが年間を通して多く催されます。 左: てくてくてんりウォーキングフェスタ2005 右: 二上山に沈む夕日を観るハイキングの様子</p>	
【観光資源としての利用状況】	
<p>桜井市から天理、奈良市へ抜ける「山の辺の道」には、数多くの古社寺・古墳や万葉の歌碑があること等から、古代のロマンをもとめて年間約20万人が全国より訪れます。また、近年の健康ブームによりハイキングを楽しむ方も大勢います。</p>	

テーマ	古代に想いを馳せる「山の辺の道」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 山の辺の道</p> <p>所在地 奈良県桜井市～天理市</p> <p>事業名 -</p> <p>事業主体 桜井市 天理市 など</p> <p>事業期間 昭和54年～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>「山の辺の道」は、大和盆地の東側、丘陵沿いに桜井から奈良に抜ける道で、人々の往来から文化伝播などに大きな役割を果たし、日本最古の官道とも言われています。</p> <p>昭和54年発足の「山の辺の道美化促進協議会( )」では、道標等の整備や秋にはクリーンハイキングを行っています。また、「山の辺の道」を利用して、年間を通しさざまなハイキングイベントが開催されており、全国から古代の歴史愛好家やハイカーが訪れます。大和三山を眺めながらのんびりと歩く道は古代ロマンを感じることができ、また、緑豊かな景色は、日ごろのストレスから開放されるという癒し効果もあります。最近では、健康ブームで歩くことを趣味とされる方も多く、健康増進にも一役かっています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「山の辺の道美化促進協議会」</p> <p>奈良県・桜井市・天理市・(株)近鉄ステーションサービス・西日本旅客鉄道(株)・奈良交通(株)・桜井市ライオンズクラブ・天理市ライオンズクラブ・桜井市観光協会・天理市観光協会で構成</p> </div>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>桜井市 <a href="http://www.city.sakurai.nara.jp/">http://www.city.sakurai.nara.jp/</a></p> <p>天理市 <a href="http://www.city.tenri.nara.jp/">http://www.city.tenri.nara.jp/</a></p>	